

迅速な意思決定を可能にする「見える化」セミナー

NEC・マクニカ共催 メディア協賛: ITmedia エンタープライズ・@IT・TechTargetジャパン

ご挨拶

2008年 10月31日

NEC 第一コンピュータソフトウェア事業部
エキスパート 濱田 光保

情報管理に対する最新の動向

- ✓ 情報信頼性の保証の動き
 - 年金・偽装問題等で問題化した、情報に対する信頼性の回復
- ✓ 地球温暖化対策:「IT、で、エコ」
 - エネルギー削減にむけて情報ペーパーレス化・ネット流通化が加速
- ✓ 待ったなしの情報統制
 - 日本版SOX法対応・情報漏洩・情報トレーサビリティ対策
- ✓ NGNの商用サービススタート
 - ユビキタス社会化による、全部門・人のいつでも・どこでもネットワーク化
 - マルチメディア情報の企業内利用が本格化

→「企業の社会責任」に対する情報管理投資が活発化
あらゆる部門・人が情報管理に主体的な関与が必要に
そして、より迅速な経営判断が求めらるる時代に

利用者毎の視点で、情報統合を実現

- 「見える化」すべき情報は、利用者によって異なる。
- 適切な利用者に適切な情報を提供することが重要。

経営者向け

経理、財務情報といった各種経営データや、カントリーリスク、株価、為替といった経営リスクに関わる情報を表示します。

CEO

各種経営データ
経営リスク情報

CFO

経理／
財務情報データ

CIO

開発PJ進捗状況
システム運用状況

事業責任者向け

営業部門長であれば、受注・売上の予算／実績といった営業活動状況の推移、コールセンター長であれば、着呼率、応答率、クレーム数といった事業判断に必要な情報を表示。

KPI

売上状況データ
事業リスク

着呼率

応答率
クレーム

購買計画

状況データ

生産ライン

状況データ

実務者向け

営業部門であれば、担当顧客の情報・ニュースや今期予算など日々の営業活動に関わるデータ、IT部門であれば、管理するシステムの稼働状況、セキュリティ対応状況などを表示。

営業活動
データ

コールセンタ
業務データ

在庫データ

ITセキュリティ
状況データ

アジェンダ

■プログラム

ご挨拶 NEC 濱田光保

第一部 14:00～14:40(40分)

ダッシュボードで「見える化」を加速 講師：マクニカ 落合 敏宏

第二部 14:40～15:20(40分)

5W1H型構造のデータベースで「見える化」を実現 講師：NEC 木村浩人

第三部 15:20～16:00(40分)

「見える化」を支えるデータ連携と高速データ処理 講師：NEC 濱田光保

第四部 16:00～17:00(60分)

「NECプロードバンド・ソリューションセンター見学」

Empowered by Innovation

NEC